

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	サマースクール助成事業	所管	教育委員会教育総務部 社会教育課
			Tel 2998-9242

事業の目的 (何の為に 行うか)	豊かな自然環境の中で夏休みに6泊7日の長期宿泊の集団生活を通して、子どもたちの豊かな感性と自律心を養い社会性を身につけることを目的とする所沢サマースクールを支援することにより、所沢市の青少年教育の振興を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	小学校5年生・6年生、高校生リーダー、大学生ボランティア	対象とした数	6,162	人
		実際に 利用した数	38	人

活動の内容	(何を したか)	◇事業実施のための補助金を交付し、年間活動を支援する。 (高校生リーダー研修会、参加者募集、保護者説明会、出発式、現地活動等) サマースクール参加については、実費程度の自己負担をしている。 小学校5・6年生の定員は70名											
		活動実績	項目名	小学校5・6年生	38	-----	項目名	高校生リーダー・大学生ボランティア	30	-----	項目名		-----
				単位	人			単位	人			単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	360	360	2,145	6.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率			
	定員に対する参加児童数	定員に対する参加児童の割合	100	54.29	54.3			
			-----	-----	-----			
			単位	%	単位	%	単位	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []					
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止					
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了					

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり 増額 減額 終了						

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当課	課コード	120300	画	2998-9242
事業コード	サマースクール助成事業	教育委員会教育総務部	社会教育課			
120305		グループ	社会教育推進担当			
開始年度		昭和	59	年度	→	終了年度
		平成		年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市生涯学習推進計画・所沢市次世代育成支援行動計画			社会教育法、 所沢市社会教育関係団体補助金交付要綱			
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び文化をはぐくむまち	人・施策	3節 青少年育成	中柱	2 青少年へのサポート体制の整備	小柱
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 22 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	3261	事務事業見直しの推進			
事業開始の背景								
昭和59年名栗村営山の家において小学6年生を対象として、第1回所沢サマースクールが実施された。第3回より新潟県栃尾市において実施される。宿泊を伴う一定期間の青少年の自然活動、集団生活をする中で社会性を身につけることを目的として、実行委員会に補助金を交付。								

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)								
	豊かな自然環境の中で夏休みに6泊7日の長期宿泊の集団生活を通して、子どもたちの豊かな感性と自律心を養い社会性を身につけることを目的とする所沢サマースクールを支援することにより、所沢市の青少年教育の振興を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	小学校5年生・6年生、高校生リーダー、大学生ボランティア			生涯学習情報誌、チラシ等で公募した参加者の各事業に参加した延べ人数。					
対象数	単位	平成 18 年度	6,229	人	利用数	単位	平成 18 年度	59	人
		平成 19 年度	6,162	人			平成 19 年度	38	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
◇事業実施のための補助金を交付し、年間活動を支援する。 (高校生リーダー研修会、参加者募集、保護者説明会、出発式、現地活動等) サマースクール参加については、実費程度の自己負担をしている。 小学校5-6年生の定員は70名									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
サマースクール実施場所を自然災害のない安全な場所で開催した。 社会教育団体安全研修会に参加し、野外活動における安全対策の参考となるような情報提供を行った。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		360	360	360	
	決 算 (見込み含む)		360	360		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)				
	正規職員人件費		0.21 人	1,932	0.19 人	1,785
	公債費					
	事業費合計		2,292	2,145		
	財源内訳	一般財源	2,292	2,145	360	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			6.8	6.3		
利用数一単位あたり(単位:円)			38,847.5	56,443.7		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	小学校5・6年生	参加者数	人	59	38	45	80
		高校生リーダー・大学生ボランティア	参加者数	人	26	30	30	40
	成果分析	定員に対する参加児童数	定員に対する参加児童の割合	%	目標値	100	100	100
%				実績	84.29	54.29	実績値の拡大を図る2	
%				達成率	84.3	54.3	実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施委員会
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益者負担の有無
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題		6泊7日の長期集団生活による様々な体験活動は非常に貴重であり、子どもたちの健全育成はもとより、高校生・大学生がボランティアとして中心となって活動しており、所沢市の青少年教育活動に大きく寄与している。今後の検討課題として、昨年度の参加者減から、実施曜日などが参加者数に影響することも考えられる。	
今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成20年度における目標設定	定員に対する参加児童の割合	定員数を満たす	平成20年7月
平成21年度における事業の方向性			
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由	当該事業は、実行委員会による長期間にわたる経験と専門スタッフの充実など、全国的にも特色ある事業内容である。しかし、高校生や大学生の青少年ボランティアが不可欠で、すでに小学生の参加費も値上げしているが、参加費のみでこれを賄うことはむずかしく、市からの助成は所沢市の青少年教育の推進のために今後も必要である。		
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	社会教育課長 則武辰夫

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨個別計画における方向性	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	施策の体系				
	施策の方向				
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1121
基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします				
主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成				
施策の方向	2社会性と生きる知恵の修得				